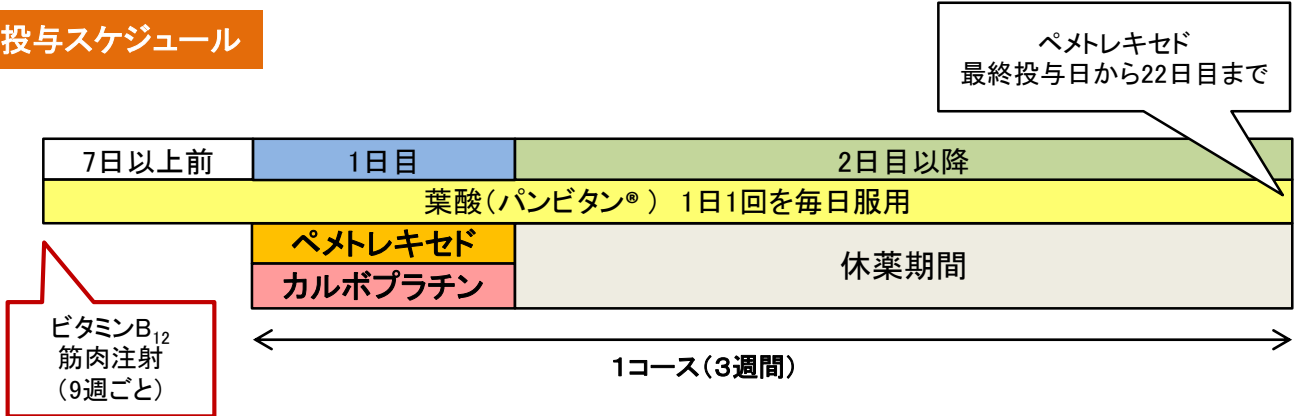


ペトレキセド + カルボプラチン療法を受けられる方へ

★ペトレキセドを使用する場合は、葉酸(パンビタン®)とビタミンB₁₂の補給が不可欠です。

葉酸とビタミンB₁₂には、ペトレキセド投与による副作用をある程度抑える働きがあり、白血球や血小板の減少、嘔吐や下痢などを軽減させます。

投与スケジュール



3週間を1コースとして、通常4コース行います。場合によっては、ペトレキセドの単剤治療を継続します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●血管痛・静脈炎	●吐き気・嘔吐	●発疹
治療数日～数週間	●食欲不振	●吐き気・嘔吐	●発疹
	●口内炎	●下痢	●白血球減少
			●疲労感
			●血小板減少
数週間～数か月	●貧血		

◇白血球減少:発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛

38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人ごみを避けましょう。手洗い、うがいをこまめにしましょう。

◇貧血

赤血球が減少して貧血になることがあります。貧血がひどい場合は、輸血を行うこともあります。

◇血小板減少:血が出やすい、アザができる

血小板は血液を固める働きがあるため、減少すると血が止まりにくくなります。ケガや転倒・打撲には十分注意し、歯磨きや鼻かみは優しく行いましょう。

◇口内炎:口の中が痛い、しみる、味がおかしい

口内炎などの粘膜の炎症は、外用薬を塗って痛みを軽くしたり、傷口を保護したりして治療します。うがいなどをして口の中を清潔に保つようにしてください。

◇発疹

5人に1人くらいの割合で生じます。

発疹の程度によって副腎皮質ホルモン(ステロイド剤)などを用いて治療します。

◇吐き気・嘔吐

投与を受けて1週間後には楽になっていきます。なるべく水分を取るようにし、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べましょう。

◇疲労感

「疲れる」「だるい」「身体が重い」といった疲労感を感じることがあります。

◇下痢

1日4回以上の排便や水様便がみられた場合は、すぐに受診してください。